

沿革

昭和45. 4. 1	京都市立御室小学校特殊学級として、国立療養所宇多野病院内に筋ジストロフィー症児学級を開設する。
9. 1	病棟建築完成する。
12. 8	開設、開級式を行う。
昭和46. 3. 15	京都市立陶化中学校籍生徒1名の卒業式を行う。
3. 23	小学校第1回卒業式を行う。
昭和46. 4. 1	京都市立双ヶ丘中学校特殊学級として筋ジストロフィー症児学級を設置する。
4. 8	小学校入学式ならびに中学校開級式を行う。
昭和47. 3. 15	中学校第1回卒業式を行う。
昭和47. 4. 25	中学部卒業生全員、朱雀高校通信制に入学。本学級への出張スクーリング始まる。
昭和48. 4. 10	無線免許国家試験、本学級へ出張試験が行われる。
昭和49. 5. 23	北校舎敷地造成を始める。
昭和50. 3. 29	北校舎竣工式を行う。(6教室、便所、ボイラー室等)
昭和50. 4. 1	京都市立吳竹養護学校鳴滝分校となる。
4. 8	開校式を行う。
昭和51. 3. 15	中学部 第1回卒業式を行う。
3. 23	小学部 第1回卒業式を行う。
昭和51. 4. 1	昭和51・52年度京都市教育委員会より特殊教育研究指定を受ける。
昭和52. 4. 1	京都市立鳴滝養護として独立し、あわせて高等部を設置する。
4. 7	開校式を行う。
12. 7	京都市教育委員会指定第2年次研究報告会を行う。
昭和53. 3. 1	高等部 第1回卒業式を行う。
3. 15	中学部 第1回卒業式を行う。
3. 23	小学部 第1回卒業式を行う。
昭和54. 4. 23	増築校舎敷地造成を始める。
5. 23	校舎起工式を行う。
昭和55. 5. 31	市合同竣工式を行う。(本館竣工)
昭和56. 4. 1	昭和56・57年度文部省指定心身障害児理解推進校(双ヶ丘中学校)の協力校となる。
昭和57. 9. 17	全病連第16回全国筋ジストロフィー症児教育研究大会を行う。
昭和58. 2. 14	屋内運動場造成を始める。
昭和58. 4. 1	昭和58・59・60年度文部省特殊教育実験学校研究指定を受ける。
9. 17	体育館建築完成する。
昭和59. 6. 2	市合同竣工式をする。(体育館竣工式)
昭和61. 2. 7	昭和58・59・60年度文部科学省指定特殊教育実験学校第3次研究報告会を行う。
昭和61. 5. 1	10周年創立記念行事を行う。
昭和63. 4. 1	筋ジストロフィー症児の教育に加えて、てんかん児(小・中学部)の教育を行う。
10. 29	第24回身体障害者スポーツ大会「愛とふれあいの京都大会」開会式の「ふれあい演技」出演と公開競技「卓球バレー」に登場する。
11. 25	京都市学校保健会より京都市学校保健賞受賞
平成元. 6. 4	京都府より第6回京都府歯科保健文化賞受賞
平成 2. 11. 7	京都市教育委員会より京都市教育功労者賞(団体の部)部受賞
平成 3. 3. 1	文集「まつぼっくり」20号記念発行。
平成 5. 4. 1	平成5・6年度文部省指定心身障害児理解推進校(双ヶ丘中学校)の協力校となる。

平成 7. 3.10	平成6年度フロンティアスクール推進事業指定研究発表会を行う。
平成 8. 4.22	京都市立鳴滝養護学校保護者の会発足。
7.25～26	第32回近畿・東海・北陸地区病弱教育連盟研究発表大会を主管。
平成 9. 5. 6	創立20周年記念誌発行。
平成10. 4. 1	平成10・11年度京都市教育委員会より「教育課程」研究指定を受ける。
平成12. 2.18	平成10・11年度京都市教育委員会指定「教育課程」研究第2次研究報告会を行う。
平成12. 4. 1	高等部において、てんかん児の教育を行う。
11. 2	京都市教育委員会より京都市教育功労者賞（団体の部）部受賞。
平成14. 6.21	京都市立鳴滝養護学校養護育成教育相談センター開設。
平成15. 12.25	グランド（整備面積1,545m ² ）完成する。
平成16. 3.29	職業専門教科実習室完成する。
平成16. 4. 1	校名を京都市立鳴滝総合養護学校に変更する。
平成17. 4.29	高等部に生活産業科を設置する。（1学年 定員16名）
12. 1～2	平成16・17年度文部科学省教育研究開発学校の指定を受ける。
平成19. 4. 1	京都市立鳴滝総合養護学校PTA発足。
7.23	文部科学省教育研究開発学校最終報告会を行う。
8. 4	校名を京都市立鳴滝総合支援学校に変更する。
8.31	KES学校版「環境にやさしい学校」に認定される。
9.22	日本行動分析学会より実践賞受賞
11.10	グランド全面芝生化完成する。
平成21. 4. 1	創立30周年記念式典を行う。
11. 5	文部科学大臣より、キャリア教育優良教育委員会・学校等表彰を受ける。
平成22. 5. 3	高等部生活産業科定数増（1年生 定員20名）。
平成23. 4. 1	京都市教育委員会より京都市教育功労者賞（団体の部）受賞。
平成23. 11.14	本館2階トイレ改修。屋上防水完成。
平成24. 3.10	高等部生活産業科定数増（1年生 定員24名）。
平成24. 4. 1	学校運営協議会を設置する。
平成25. 4. 1	体育館、本館屋根改修完成する。
平成26. 2.10	壬生サテライトでの学習を本格実施する。
平成26. 4. 1	京都市立病院に分教室「わかば」を設置する（開設式を4/12に挙行）
平成27. 2.10	研究発表会「社会と関わり豊かに生活するためのキャリア教育の推進～ICFの視点を用いたキャリア教育の実践～」を行う。
平成27. 4. 1	文部科学省「キャリア教育・就労支援推進事業」の委託を受ける（本校、白河総合、白河東山分校の3校）。
平成27. 8. 4～5	研究発表会「社会と関わり豊かに生活するためのキャリア教育の推進～ICFの視点を用いたキャリア教育の実践～」を行う。
平成28. 2. 5～6	文部科学省「キャリア教育・就労支援推進事業」の委託（二年次）を受ける（本校、白河総合、白河東山分校の3校）。
	第56回全国病弱虚弱教育研究連盟 研究協議会並びに総会（京都大会）
	第51回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟 研究協議会並びに総会（京都大会）に協力校として参加する。
	京都市立総合支援学校職業学科3校合同研究発表会を行う（全体テーマ「就労に向けた基盤となる自己肯定感を育むための地域協働・共生型活動の開発」）
	2.5 本校にて実施（終日）
	本校テーマ「児童生徒の自己肯定感を高めるキャリア教育の推進」
	2.6 京都女子大学（C棟501教室）にて実施（半日）
平成28. 4. 1	文部科学省「キャリア教育・就労支援推進事業」の委託（三年次）を受ける（本校、白河総合、東山総合の3校）